

温もりを届けたい、手からこころへ.....

たまちゃん通信 62号

2015
平成27年2月 - 1

今月の情報



E-mail: honbu@otedama.jp
●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp
●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10番1号

TEL : 0897-32-0302
FAX : 0897-32-0311

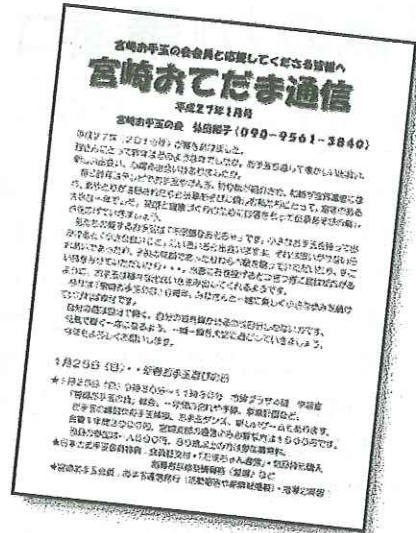
愛するお手玉は『不思議なおもちゃ』です

27年1月の「宮崎おてだま通信」から

1 笑顔と健康づくりのために、自信をもって伝承遊びの楽しさを広げていきましょう。

宮崎お手玉の会発行の「宮崎おてだま通信」平成27年1月号の巻頭に、会長の弘田和子さんの、次のような文章が掲載されました。ここに転載させていただきます。

「平成27年(2015年)が幕を開けました。皆さんにとって昨年ほどのような年でしたか。お手玉を通して懐かしい出会い、心躍る出会いがありましたか。



私たちの愛するお手玉は、『不思議なおもちゃ』です。小さなお手玉を持つて出かけると、『小さな良いこと』にいろいろな出会いがあります。

それは、思いがけないふれあいであったり、子供の笑顔であったり、わらべ歌を歌っていただったり、すごい技をみせていただいたり.....

水面に石を投げると、つぎつぎに波紋が広がるように、お手玉は様々な出会いを生み出してくれるようです。

今年も『宮崎お手玉の会』6周年。みなさんと一緒に、楽しく小さな歩みを続けていければ幸せです。

自分の道は自分で開く、自分の道を輝かせるのは自分しかないのです。

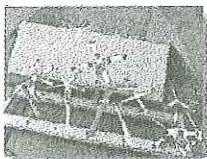
元気で輝く一年になるよう、一瞬一瞬を大切に過ごしましょう。今年もよろしくお願います。あなたにとって、平成26年はどんな一年でしたか。今年は何年になん年にしたいですか。



■ 神代コマ遊び



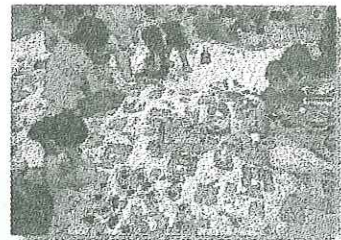
■ 折り紙遊び



■ 竹とんぼ遊び



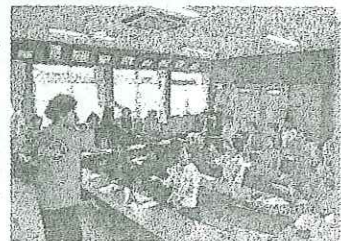
■ お手玉づくり方講座



■ 子育て支援広場



■ 東京おもちゃ美術館へ参加



■ 高齢者指導活動

2015
平成27年2月 - 2

今月の情報

温もりを届けたい、手からころへ.....

たまちゃん通信 62号



E-mail: honbu@otedama.jp
●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp
●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL: 0897-32-0302

FAX: 0897-32-0311

荒井敦子さんの 『歌の力』講演コンサート

新居浜支部が『わらべうたとお手玉で健康づくり』

新居浜支部は新居浜市との共催で、平成26年度新居浜市「高齢者生きがい創出事業」の一環として、平成27年1月9日(金)、市民文化センターで、講演コンサート『歌の力』～わらべうたとお手玉で健康づくり～を開催しました。

講師には、声楽科で音楽療法士の荒井敦子さん(NPO法人音楽の森理事長)をお迎えしました。

荒井さんは、ピアニストの宮川真由美さんの伴奏で、奈良に伝わるわらべうたを歌いながら、ユーモアあふれる語り口で、「わらべうたを歌うことで健康な心と体をつくることことができる」と話されました。

「わらべ歌は、高齢者にとって、また認知症の人にとっても回想法になる、大きな力を持っている」と紹介されました。

とくに、奈良市では、「お年寄りがわらべ歌を歌い、お手玉を始めたことで、笑顔が生まれ、心が豊かになり、仲間意識が芽生え、心と体が健康になり、老人医療費を大幅に削減することができた」とのお話に、集まった人たちは、うなずきながら聞き入っていました。

また、新居浜市の大島に伝わる「とうとうおくり(左義長)」の歌を、何曲も紹介しながら、「新居浜にはたくさんのわらべ歌や、別子銅山を礎とした産業、文化の伝統があって素晴らしいまちである」と語りかけました。

講演の途中で、NHKの連続テレビ小説「マッサン」の主題歌『麦の唄』が始まると、集まった200人の市民は、その歌声と声量と迫力に魅了され、うっとり聞き入っていました。

昨年のお話には、インドを訪れ、インドの子どもたちにわらべ歌とお手玉を教え、少年少女合唱団をつくるのお話には、大きな拍手が送られました。

講演を終わっても拍手が鳴り止まず、アンコールとして「故郷」を荒井さんと会場が一緒になって、全員で合唱して幕を閉じました。

講演の終了後、一人りの女子高校生学生が荒井さんの楽屋を訪ね、「『回想法』のお話に感動しました。私も音楽療法士になりたい」と、涙を流しながら相談をしていました。

